

平成22年(2010年)

第4号

(6月1日発行)
発行者 紫雲会東京支部長 安西 愈
印刷所 (有)しまわり印刷

今号の主な内容

平成22年度 東京支部 総会のご案内

7月3日(土)12:30
(受付:11時30分より)

場所:サンミ高松7丁目店
東京都中央区銀座7-13-20

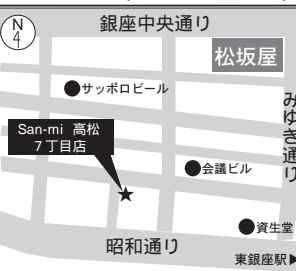
会費:男 性 7,000円
女 性 5,000円
29歳まで 5,000円
20歳まで 無 料

当日電話 03-3546-8182

問い合わせ先電話 03-5568-3320

高松商事(株)内 紫雲会東京支部
事務局 漆原慎二

サンミ高松7丁目店案内地図
最寄駅:東銀座(都営浅草線・銀座線)



紫雲会東京

東京支部長 挨拶

東京支部長 S32年卒 安西 愈

「ふるさと」は遠くにありて想うもの」という言葉がありますが、東京支部の皆様は母校の高松からは遠く離れた地にあって、紫雲会という母校の絆で結ばれた者として一層の會員間の親睦と交流を目指したいと存じます。

私が 瀧淵利幸前支部長から支部長を引き継いで今回で二回目の支部総会を迎えます。會員の皆様には、一昨年のリーマンショック以来、世界同時不況の影響を受けて苦勞をされていると存じます。

東京支部では、前瀧淵支部長の方針で「會員みんなの協力による支部運営」を目標に、改革を図って参りました。このため役員会、常任理事会、各委員会も次第に拡充され、今年度は新たに「年次幹事推進委員会」「総会実行委員会」を設け、合計八つの委員会となり



ました。

また、支部総会では予算・決算のほか新役員を選任や会則等の改正のご審議をお願い致しますとともに、總會のメイン行事としての會員表彰は、今回は書道家の末沢晴代様(二六年卒)を顕彰させて頂きます。

今年度は、母校高松商業創立百十周年の記念の年にあたり11月24日には母校生徒による式典が行われ、この記念として「百十周年記念基金」が創設され、母校在

校生の「文武両立」精神に基づく部活動のための費用負担の補助を目的に募金活動を行っております。

すてに會員の皆様のご協力には母校記念事業実行委員会より募金をお願いが参っておりますと思いますが、紫雲会の齊藤和良会長より東京支部に対し格段の協力方の依頼がなされており、当支部としても二百万円を目標に募金活動を致しますので何卒皆様方の御支援をお願い致します。

また、紫雲会大阪支部の創立六十周年記念大会(六月十三日神戸)につきましても、支部の皆様のご協力を賜り有り難うございます。七月三日(土)の支部総会には是非とも御出席をいただき、懐旧の絆を深めて頂きますようお願い致します。

高商創立百十周年を祝って

紫雲会本部長 S26年卒 齊藤 和良

紫雲会東京支部の皆様には、益々の活躍、心より感謝申し上げます。一昨年、東京支部の75周年を祝われ、今年は、大阪支部が60周年のお祝いをされます。

それぞれの支部が周年行事を機に、活発に発展されていること心から敬意を致すところです。今秋には高商創立110周年記念の行事と紫雲会總會を母校の体育館で後輩の現役生徒達と祝いたいと思っております。

来春には落成される予定の第二期の校舎改築をご覧頂きお楽しみ下さい。紫雲会の懇親会は、全日空ホテルに移動して行います。また、今年は、高松市開設120周年に当たります市開設10年目に高商が創立されたことを見ます。「高松百年の歴史」を見ます。「商業学校は、明治33年4月、高松市立商業学校が設立され、見性寺を仮校舎として開校式が行われた。35年

10月五番町に校舎を新築、市をあげて落成を祝った。大正2年1月に、宮脇村(現中央病院)に香川県立商業学校として新築移転。11年香川県立高松商業学校と改称」と出ております。昭和20年7月の戦災で校舎は全焼、校門の門柱と奉安殿が焼け野原にポツンと残ったのが思い出です。校門の門柱は、現校舎の入口に記念として焼け残ったザクロの木とともに保存されています。その後、昭和22年頃に工業学校跡地(現香川大学)にブレハブの校舎ができ、私も香川県立高松商業高校併設中学校の卒業式をここで挙げて、その後、現在の松島町の校舎に新築移転、数回の改築後、今回、工事を三期に分けて、改築されております。是非とも、新校舎をご覧頂き、ここで「生懸命勉学とスポーツに励む後輩たちを見てやってください。そしてもうご覧頂きたいと思っております。110周年記念募金の趣意書」にご高配を頂ければと思っております。

最後になりましたが、皆様の益々のご健勝とご多幸を、祈念申し上げます。

大阪支部長 S22年卒 北村光雄

「紫雲会東京」4号紙の発刊を心からお祝い申し上げます。広報誌が連続して発刊されます事は如何に東京支部活動が活性化され定着し、発展して居るかの現れであり、紫雲会大阪支部の支部便りとして今年に支部創立60年を迎える事が出来ました。歴代支部長の苦勞と、紫雲会本部、東京支部、また歴代学長、紫雲会担当の先生をはじめ多くの方々の温かいご指導、ご支援あつての事と深

く感謝致して居ります。

大阪支部は下記のご案内のよう
港島中町6丁目10 TEL078
302 1111 FAX078
302 0877
担当責任者 榎木部長
会費 10,500円(お一人様)
お宿泊の方へ 3,000円プラスで合計16,800円
但し、「ご同伴のご家族の方の宿泊は3,500円プラスで合計14,000円
(宿泊ホテル)38(m)ツインベッド31F最高のロケーションです(朝食バイキング付)

高商創立百十周年を迎えて

高松商業高校校長 奈良計男

紫雲会東京支部の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本年は、本校創立110周年という記念すべき年に当たります。至誠・剛健・協同・勤勞・敬愛の校訓のもと、「文武両道」「士魂商才」の精神を受け継いだ3万2千人を超える卒業生の皆様との真摯な営みにより、本校の歴史と伝統が築かれてまいりました。

現在、紫雲会本部、PTAのご理解ご協力のもと、「創立110周年記念事業実行委員会」を組織し、11月24日の記念式典等に向けて準備を進めているところです。

また、本校では、平成18年度に始まった校舎改築工事の一環として、来年3月完成予定の生徒用教室棟の新築工事が進められており、4月には、「情報数理科」の第一期生が入学するなど、本年は、「校舎改築」「情報数理科の設置」が、

「高商創立60周年を迎えて」

大阪支部長 S22年卒 北村光雄

「創立110周年」という三つの大きな出来事が重なる年となりました。創立110周年に当たり、本年を単に積み重ねる一つの年とすることなく、先人たちが築いてこられた歴史や伝統について学び直す節目の年であると位置づけであり、過去を振り返り新たな気持ちで次の一歩を踏み出すために、「百十年の軌跡 ひらこみ」未来の扉 築こう創造の新时代」をスローガンとして掲げたところです。

学習面をはじめ、スポーツ・文化活動など、皆様方の期待や地域の信頼に応えることはもちろん、高松商業高校の50年先、100年先を見据え、一層の飛躍につないでいきたく考えておりますので、今後とも、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

紫雲会東京支部の益々のご発展、並びに皆様方のご健勝を祈念し、挨拶とさせていただきます。

場 所 神戸ポートピアホテル(ご宿泊はオプションです)(三宮よりポートライナー「市民広場駅」下車すぐ)
〒650 0046 神戸市中央区
港島中町6丁目10 TEL078
302 1111 FAX078
302 0877
担当責任者 榎木部長
会費 10,500円(お一人様)
お宿泊の方へ 3,000円プラスで合計16,800円
但し、「ご同伴のご家族の方の宿泊は3,500円プラスで合計14,000円
(宿泊ホテル)38(m)ツインベッド31F最高のロケーションです(朝食バイキング付)

日 時 1日目 平成22年6月13日(日) 総会、記念式典 受付 12:00から2日目 6



平成 21 年度 東京支部 活動報告

平成 21 年度支部活動で特筆されることは、まず支部総会にて 132 名という、平成 20 年度の 75 周年記念総会に準じる出席者であったことです。当該支部役員のご努力も然る事ながら、会員各位のご協力の賜物と申せましよう。安西弁護士(支部長)が最も話題となった「裁判員制度」をお話されることも(結果は大好評でした)大きな要因でした。又、会員が創作した作品群の展示会とか演奏会あるいはビンゴゲーム等が相乗効果を上げたことも間違いありません。次に、新理事に何と 20 名が推薦され承認されたこと。更に、「東京支部会員名簿」を種本名簿委員長・委員のご努力で初めて会員全員に配布出来ました。又、総会出席は良かったとの評を得ていますが、更に次回の総会をより充実させ、より満足いただけるために総会実行委員会「総会反省会」を開催し、

種々要因分析を行いました。東京支部の組織的運営がだんだんと定着していることがお分かりいただけるかと思えます。

親睦・交流事業は本年度も日帰り旅行(10/23)「鎌倉散策」と支部ゴルフ大会(3/24)を大勢の参加を得て、親睦がより深まったようです。支部組織では「総会実行委員会」を新設して、先ほどの課題とか段取り等に取り組みことになった。2年の任期満了であった全役員は一括承認され引き続き任務継続になりました。常任理事の一部委員長等の変更に加え、常任理事 4 名が新たに承認され、各委員会の委員に任命されました。会則等の変更・追加では支部長代行等の任期を定め、更に支部長、理事、東京香川県人会理事の推薦基準を設定したことが主要な箇所でした。ご好評の会報「紫雲会東京」を本年も引き続き発行し

収 入		支 出	
前年度繰越	388,604	総会費用	1,075,905
総会会費	803,000	事務通信費	64,167
男 @7000×101名	707,000	旅費交通費	148,100
女他@5000×28名他	96,000	慶弔	30,000
お祝い金	90,000	振込負担金	43,427
役員年会費	388,000	会議費	391,385
会議費(個人負担分)	175,000	役員会(1回)	132,300
役員会		常任理事会(2回)	94,500
@3000×21名(1回)	63,000	年次幹事会	115,550
常任理事会		各委員会	49,035
@2000×30名(2回)	60,000	各委員会助成金	20,000
年次幹事会		旅行誌	372,222
@2000×26名(1回)	52,000	HP研究費	3,150
発行誌広告代	544,210	バスツアー	90,000
バスツアー	90,000	事務局費	50,000
一般年会費	357,000	雑収入	100,000
雑収入	100,000	受取利息	24
受取利息	24	次年度繰越	647,482
計	2,935,838	計	2,935,838

<総会費用>			
料理 @5000×127名	635,000	オーケストラ代	70,000
ドリンク @1500×131名	196,500	ピンゴ景品	15,750
弁当(ハート)	6,000	会員作品展	41,819
カー	15,000	その他	25,911
実業士連代	18,000	合計	1,075,905
懇談会代	8,000	受取人私	22,685
消費税	43,925	合計	372,222
小計	922,425		

た。本年も年次幹事会を5月23日に開催し、各年次の現状について協議しました。総務委員会は予算のチェック等本来の業務の他他費の削減にも意を注がれ効果上げています。

紫雲会本部との協議で、本部から東京、大阪支部に夫々活動助成金(15万円/年)を次年度より活動だぐことになり、厳しい収支状況の一助となり、本部長、支部長、支部長代行のご努力に感謝するものです。

東京香川県人会では安西支部長、神内副支部長と共に副会長に、更に杉ノ内、安西(彰)、北條各常任理事が理事に任命されました。

平成 21 年度 付議事項

平成 21 年度付議事項は決議を要するもの 5 件、報告事項 12 件の 17 件でした。この付議事項は総会にて全て承認されました。

決議事項の内容は、1. 平成 20 年度会計報告及び会計監査報告 2. 平成 21 年度事業に関する予算 3. 役員(理事)の任期満了(2 年間)に伴い、再任する件 4. 新理事(20 人)と新常任理事候補(4 人)選任の件 5. 会則等改定の案件です。

この会則変更について概要を記しますと、役員に名誉支部長、最高顧問、常任理事を議長を明記し、併せてその任務、任期を明確にしました。細則変更についても常任理事会の組織について、各委員長の役割等について明確にしました。

報告事項(敬称略)は、1. 「支部総会実行委員会」を特別組織として新設 2. 常任理事会の主要役員については、会員動員増強(正・副委員長)は北條 勇、川田福造、親睦・交流(正・副委員長)は片岡英明、山中イツ子、表彰検討(正・副委員長)は池田正廣、宮本洋子、総務(正・副委員長)は安西 彰、谷本清彦

新設の支部総会実行委員長は北條 勇、元委員長の杉ノ内義春と上田康夫は常任理事会に留任 3. 東京支部会員名簿が完成し送付済み 4. 年次幹事会を5月23日に開催 5. 10月23日、バスにて鎌倉路を散策 6. 3月24日大谷多喜Cにて支部ゴルフ大会を開催 7. 「スポーツ分野」で大谷美恵子を表彰する 8. 東京香川県人会では紫雲会より満洲最高顧問が既に副会長に就任されていますが、更に、副会長候補として、安西 愈支部長と神内博喜副支部長の二名を、同会理事候補として東京支部常任理事三名を夫々推薦しました。(その後、東京香川県人会総会で全員正式に承認されました) 9. 「紫雲会東京」3号紙は5月末日に発行送付済み 10. 紫雲会東京支部総会を7月4日(土)に開催 11. 事務局費の支払い 12. 本年度より会費を毎年(4〜6月迄)納付する案件です。

行ってきました! 「古都鎌倉散策」 副委員長 S 34 年卒 山中イツ子



京支部会員二十二名は鎌倉駅から観光バスに乗車。建長寺、鶴岡八幡宮、鎌倉宮をやさしいガイドさんの説明を聞きながら紅葉には間があり平日所為に長閑な散策。その後、料理屋御代川にて約一時間個室で寛ぎながら用意された京風懐石弁当を味わいました。午後長谷寺・長谷観音の海岸線走行中は車内も静まりガイさんの「七里ガ浜の哀歌」は心地よい子守唄となり睡魔に襲われながら江ノ島に到着。そこで観光バスを下車。Aは全員でコーヒーをいただき今初の補助金からのお土産片手に解散となりました。

途中の鶴岡八幡宮と鎌倉大仏前では三十三年中西さんに記念写真を撮って頂きました。笑顔で三脚ご持参のカメラマンを引き受けていただき有難うございました。後日皆様へ送付させていただきます。「鎌倉宮は初めてですが解説付きなので新しい発見がありました」。バスの世代にはびつたりかナ、「総会に気がなっていた人とバス旅行で親しくなり、やっぱりクラブの先輩でした」等々嬉しい感想を頂きました。参加の皆様お疲れ様でした。三十三年卒の方々は同期会を兼ねた行事として多数のご参加があり、又二十九年卒のご夫妻のご参加等、親睦交流の輪も広がってまいりました。因みに今回初参加者 82%。次回も初参加者大歓迎です!。卒業年度別の参加者数は 28 年 1 名・29 年 2 名(ご夫妻)・32 年 2 名・33 年 9 名・34 年 4 名・35 年 1 名・36 年 2 名・39 年 1 名(男 17 名・女 5 名)

台風により急遽中止、順延し改めて 3月24日に大谷多喜カントリークラブで開催(参加者 11 名)致しました。当日、小雨が降り続く悪天候の中で、スタートは、各選手が練習の成果を十二分に発揮され、ナイスショットの連続でした。特筆すべきはドラゴン賞進田選手の 200 ヤード超のドライブショット、ニアピン賞藤原選手のピン横へのアイアンショット等目を見張る熱戦の展開がありました。上位表彰者は次のとおりです。

優勝 32 年卒 大野 勲
準優勝(BG賞) 39 年卒 北條 勇
第三位 40 年卒 太田政輝
毎年優勝者は熱戦を勝ち抜いた新人が登場し、懇親の宴を挙げる事が出来つつあるものと思います。各位に厚く御礼申し上げます。

次回東京支部ゴルフ大会は参加者 15〜20 名程度に増員致したいので、今後とも会員各位のご協力をお願い申し上げます。



平成 21 年度第 3 回 ゴルフ大会のご報告

元委員長 S 28 年卒 上田康夫

当初の開催予定日(10月7日)は

平成22年度 東京支部定期総会のご案内

今年も7月3日土曜日に紫雲会東京支部の定期総会を開催いたします。昨年はいま32名の同窓の皆様が一同に集いました。久しぶりの会場でお会いする方、日頃から同期会を度々開かれている年次のグループの方々もあり、この日しか喋らない議題が盛り込まれて、総会に出席したことがない方は今回を機に参加されたいと思います。また、遺贈、古希等節目を迎えられる方は総会で改めて祝うては如何でしょうか。同期会を開いていない年次の方々はこの機会に同期会を発足して、情報交換を密にしたいと思っております。

総会では支部の活動状況が良く解り、更に皆さんに楽しんでいただける企画を考えて、会員の皆様一人でも多く出席していただけるように準備しております。

今年の表彰者は書道を通じ文化活動をされています。未沢晴代様(昭和36年卒)です。作品も会場に展示されますので、是非、出席してご覧いただきたく思います。

総会では議案の審議をいただきますが、現在までに判明している主な項目をご紹介します。1.平成21年度事業及び会計報告並びに監査報告 2.平成22年度 理事候補4名と常任理事候補3名 3.会則細則の一部改定。

また、報告事項は、1.常任理事会に「年次幹事推進委員会」の新設と「総会実行委員会」を特別組織から常任理事会へ移設 2.常任理事会役員の変更 3.昨年配布の東京支部会費名簿の一部修正 4.平成21年度親睦・交流活動並びに平成22

年度計画 5.会報「紫雲会東京」4号の発行 6.学校110周年事業ほか。

書道終了後は、校歌斉唱、来賓挨拶、表彰式、郷土香川県出身者による演奏、乾杯、エールの交換、懇親会と続き、ビンゴゲームを今年も行いますのでお楽しみください。17時頃閉会予定です。今年も会場では、会員による写真、絵画、書道等の作品展示を行います。

定期総会演奏者決定する

伊藤 恭子(ヴァイオリン奏者)香川県出身
伊藤 恭子(ヴァイオリン奏者)香川県出身
高松一(高松4年卒、愛知県立芸術大学イニエル大学大学院音楽科卒、ヤッシャ・ハインツの愛弟子、エリック・フリドマンの薫陶を受ける。現在は東京を中心に、スタジオ録音、オーケストラ、ソロ、室内楽、ライブと幅広く活動するとともに、後進の指導にも熱心にあたりかけている。

平成22年度 事業計画

本年度は下記の事業計画を推進してまいります。

1. 組織・運営について
- (1) 組織強化のため理事候補4名を、事務局機能を強化するため常任理事候補 3名を夫々選任します。
- (2) 「年次幹事推進委員会」(委員長候補 関 邦義)を常任理事会の中に新設する他、特別組織の支部総会実行委員会を名称変更して「総会実行委員会」(委員長 北條 勇)を常任理事会の中に移設する。これ

により常任理事会全体で有機的な支援体制が築かれ、整合性の取れた運営が出来る。本項について、細則を変更します。

(3) 広く表彰者を募集・推薦し、これを審議の上、該当者を表彰します。

(4) 東京支部創立80周年事業基金を設ける。更に、ホームページ研究費を計上します。

2. 親睦・交流事業

(1) 親睦・交流事業を発展強化し、助成措置を講じます。

(2) 平成22年9月30日(木) 東京支部ゴルフ大会を開催する。千葉県市原市 CPG C C (P) 18 H 及び 平成22年10月28日(木) 東京支部日帰り旅行「富士山麓周遊とスバルライン」を実施します。

(3) 広報紙「紫雲会東京」4号紙を発行します。5月末頃配達見込みです。

(4) 東京香川県人会総会は11月4日(木)に開催されます。今年も常任理事より新理事が推薦される見込みです。

3. 基盤整備事業

(1) 昨年配布した会員名簿を一部修正、追加、削除をし、アドレスシールを作成します。

(2) 会員(未登録者)、理事(本年度候補 4名)の拡充を図ります。

(3) 年次幹事会を5月22日(土)に開催する。

(4) 作品展「趣味のコーナー」(広報紙)を伸展させ、作品展、同一趣味を通じた会員拡大と交流促進を図ることによって支部基盤の強化を進めます。

4. 東京支部総会の開催

7月3日(土)に東京支部定期総会を開催します。総会実行委員会は「来賓の皆様、大勢の会員の皆様」が、心より楽しんでください。このようにいろいろと趣向を凝らしてお

平成22年度 付議事項

平成22年度付議事項は決議を要するもの4件、報告事項12件の16件です。

決議事項は、1.平成21年度会計報告及び会計監査報告 2.平成22年度事業に関する予算 3.新理事候補(敬称略) 31年卒 筒井文男、36年卒 鈴木芳徳、48年卒 三村圭介、平成28年卒 石田知行の4名と新常任理事候補 33年卒 安西公夫、33年卒 吉川俊夫、36年卒 吉田勝昭の3名選任の件 4. 細則改定の4件です。

報告事項(敬称略)は、1.常任理事会に「年次推進委員会」を新設し「総会実行委員会」を特別組織から常任理事会へ移設する 2.常任理事会役員の変更について、年次推進委員は関 邦義と、其の委員は会員増強委員も兼ねることとする。新常任理事も、各々の委員会に委員として登録される。3.昨年配布した東京支部会員名簿の一部修正を行うと共に、新しくアドレスシールを作成し、今年よりそのシールで書類を送送する。4.年次幹事会を5月22日に開催する。5.9月30日 千葉県市原市 CPG C C (P) 18 Hにて東京支部ゴルフ大会を開催する。6.10月28日 日帰り旅行として「富士山麓周遊とスバルライン」を挙げる。7.「芸術分野」(注、書道)で未沢晴代を表彰する。8.紫雲会より若干の常任理事が東京香川県人会の理事に推薦する。9.「紫雲会東京」4号紙は5月末日に発行送付する。10.紫雲会東京支部総会を7月4日(土)に開催する。11.学校創立110周年

年事業として11月24日に学校、紫雲会本部で祝賀行事が執り行われます。この記念事業として、紫雲会本部では遠隔地でのスポーツ大会等の行事参加に要する交通費等を補助する目的で2,200万円の寄付金を募り、この資金で基金設定を進めており、この資金にも要請があり、東京支部として10万円寄付を行う。

12.大阪支部も創立60周年記念事業が6月13日に執り行われるについて当支部に出席要請があった。

「日帰りバス旅行」回を重ねる毎に参加者も増え「親睦・交流」の輪が広がってまいりました。同窓生同士の安心感や気楽さが一番のようです。クラブの先輩後輩との出会い、同期会の行事に、「ご夫婦」家族の親睦など、初めての参加者大歓迎です。紫雲会東京支部の「秋の遠足」にどうぞ気楽に参加されます様ご案内申し上げます。

今年度は左記の通り実施いたします。

実施日：十月二十八日(木)
行先：はとバス「富士山麓周遊とスバルライン」

集合場所と時間：東京駅丸の内南口 八時二十分
解散場所と時間：東京駅十八時三十分

コース：東京駅 富士ビジターセンター 富士山五合目 ホテルハイランドリゾート(昼食)
1 富士風穴 白糸の滝 東京駅 会費：大人九千円 子供八千円 (昼食・記念写真共)

申込と切り：七月二十日まで
紫雲会東京支部事務局漆原慎一宛
03 55668 3320
振込：七月二十日まで ゆうちょ銀行
記号10110
番号75655281
口座名 紫雲会東京支部
会計漆原慎一

参加人員が三十名以上になった場合、集合場所と時間の変更がありますので、追って参加者に連絡申し上げます。(貸切の場合、集合場所は東京駅団体系り場、集合時間九時に変更予定、決定は八月初旬になります。)

参加費 3,000円
(パーティ、賞品代)

4. 表彰 支部長林他多数
5. 申し込み先 東京支部事務局 漆原 電話 03 55668 3320

FAX 03 55668 3310
又は大大会幹事 片岡
電話 04 36 23 7839
FAX 04 36 23 7839

7839

7839

7839

7839

7839

7839

平成22年度 『表彰者のご紹介』

表彰検討委員長 S 39年卒 池田正廣

この表彰制度をスタートして4年目となり、22年度の表彰者は36年卒の末沢晴代氏(書道)に決定いたしました。末沢氏は高商時代に書道部に在籍され、50年に福岡にて研鑽されて卒業。その後広島では広島県書展、日本書芸院、その上日展まで出展されました。60年に東京に帰ってからは書道基本から学ぶ書道専門学校へ入学し漢詩作品創作から漢字とかなを融合させた「漢字かな交じり」分野に進まれました。更にその学校の助講師に就任、「かな書道」を徹底的に学び、日本文化の素晴らしさ、いにしえ人の偉大さに感銘を受け、更なる書道の高みに到達されました。現在も書道教室の先生をされ地域社会に貢献することもに書道を通じて日本文化の継承にも尽力されています。また華美な優劣を競うコンテストではなく本来の書道を目指して、各種公募展に出展されています。中でも伝統を正しく受け継ぎ、発展、向上を図る目的で開催されている読売新聞社主催の「読売書法展」や東京新聞社主催の「東京書法展」では何度も入賞されています。今後も展示会等の機会がありましたらご案内いたしますので是非共にご鑑賞いただきたいと思います。

この表彰制度は紫雲会会員の皆様に大きな励みとなる元気を与え、ささやかな名譽になればと創設されました。分野は芸術、文化、スポーツ、更に地域でのボランティア活動や善行表彰、紫雲会活動等、広範囲に亘っております。今後皆様様の近くで活躍をされている方を、ご紹介推薦していただきたくお願い申し上げます。

私と書道

S 36年卒
末沢晴代(雅号 福家晴代)

人生たまたまご縁があったのでしよう。幼い時は別として、昭和60年福岡で「いろは」との出会いが書の始まり。小さな字を懸腕法(手をつけず)で眼の前で半紙にいろはうたの手本を書いていただきました。その時の私にとって、習字とは漢字でしたから新鮮で興味深いものがありました。そして、広島時代、師は変わりましたが、かな書道作品にて、広島県書展、日本書芸院、福屋デパートにて社中展、その上、日展まで、言われるままに次から次へと書き続けました。まるで書道の小学生の時代でした。

昭和60年、東京に帰れることになり、書の基本から学びたくて書道専門学校へ入学、漢字の世界にとどまり浸かり、書道字典片手に漢詩作品創作の明け暮れでした。そして、漢字を、漢字とかなを融合させて、漢字かな交じり、分野へと生みの苦しみ味わいながら、銀座への展覧会を経験、夢中で突っ走りました。10年ほどの歳月が流れ、その学校よりかな書の助講師の話をいただき、これを機に「かな書道」なるものを徹底的に習いたくなり、今は亡き高名な師匠との出会いが、更なる書道の高みに導いて下さいました。師の書かれる、日本で生まれた「かな書道」がこれほどまでに美しいものかと敬嘆しました。みそとこじ(三十一)の短歌を白と黒で幽玄の世界へ、哲学は東洋に限るといわれませんが、日本の万葉うたを白の上に筆で字を書きながらも絵を書くように。

日本文化について素晴らしいのでしよう。古典を習うにつけ、いにしえ人の偉大さ、センスの高さに驚きを畏敬の念を抱きます。下手な臨書をせよとせよと毎日おきめせよ書

かせる、この書の魅力はいつたい何なのか、私自身不思議です。この書の魔力。
こころほど近所の子供達とけいこしてありますが、邪念や私欲のない純真な筆の字、まさしくこれが芸術作品でしょう。子供達の捨てた書を大切にしているのが日課になりました。自然無為が何より。私も幼いころほめられました。これが今につながっているのかもしれない。子供達がいずれ又、この道によりそ

てくれたらと念じながら、無心で本をくり返し学ぶ大切さ、小さなことながら気がつけば35年、「人書俱に老ゆ」(じんしよともにおゆ)のことはおもいながらこころ新たにです。あらゆるご縁に支えられの今自分です。
桃栗三年書一念 感謝



末沢晴代(雅号 福家晴代)氏
プロフィール
高松市生まれ。昭和56年広島県東入道。平成元年東京書作展優秀賞連続5回、平成5年芸術新聞社「墨」特別賞(漢字かな交じりにて)、平成16年より連続読売書法展 秀逸

紫雲会東京支部 平成22年度 予算案 (期間:平成22年4月1日~平成23年3月31日)

収入		支出	
前年度繰越	647,482	総会費用	1,035,000
総会会費	735,000	事務消耗品・通信費	60,000
男 @7000×90名	630,000	旅費交通費	150,000
女他@5000×30名他	105,000	慶弔	30,000
お祝い金	60,000	振込負担金	43,000
役員年会費	389,000	会議費	544,000
会議費会費(個人負担分)	215,000	役員会(1回)	157,000
役員会		常任理事会(2回)	133,000
@3000×25名(1回)	75,000	年次幹事会	104,000
常任理事会		各委員会	150,000
@2000×22名(2回)	88,000	各委員会助成金	20,000
年次幹事会		発行誌	381,000
@2000×26名(1回)	52,000	事務局費	50,000
発行誌広告代	380,000	予備費	50,000
一般年会費	335,000	バスツアー	100,000
バスツアー	100,000	HP研究費	40,000
本部助成金	150,000	基金 80周年記念	50,000
		110周年募金寄付	100,000
		次年度繰越	358,482
計	3,011,482	計	3,011,482

<総会費用>
料理 @5000×126名×97% 611,000 演劇代 50,000 <発行誌>
ドリンク @1500×126名 189,000 ビンゴ用品 30,000 印刷代 240,000
弁当(ハンド) 3,000 会員作品展 50,000 4-6便 100,000
カレー 15,000 その他 25,000 サラテ 17,000
来賓土産代 12,000 合計 1,035,000 受取人私 24,000
懇親軽食代 8,000 消費税 42,000
小計 880,000

よこそ 紫雲会へ

倉敷増進委員長 S 32年卒 川田 福造

親睦・交流・青春時代に返り、方言をまじえてふるさとを思い出し、心なごむ親睦会、真にすばらしい交流の出来ることを共有した、紫雲会東京支部総会が年々盛大になりつつあり、最近では130名前後の人数が集まっています。

年一回の総会は7月の第一土曜日開催で、今年も会員増強委員会が年次幹事会と協力して140名の出席目標で活動をしています。総会、親睦会、ビンゴゲーム等の企画が満載で、特にビンゴゲームに人気があります。景品は役員の皆様協力による物です。最近の出席者の状況としては、遅遅を迎える、迎えた人を中心に増えております。年次別では、28年卒、30年代卒から40年代卒が多くなっています。学校の話題、ふるさと、会社、地域の話題等の提供が多くあり、「コミュニケーション」で元気がもたれます。紫雲会は年次別幹事の皆様が中心となり、紫雲会の「エネルギー」として、発展・拡大をしております。年次別幹事の皆様、同期同窓の方をお誘いのうえ、多くの出席をお願いいたします。特に若い世代の卒業生、紫雲会のメンバーの出席を期待しております。若い人達の企画も取り入れ、来し紫雲会東京支部総会にしていきますので、高松商業のOB、紫雲会の皆様の出席をお待ちしています。

総務委員会活動報告

総務委員長 S 32年卒 安西 彰

総務委員会の活動内容については昨年の会報三号紙でご案内しています。会員の皆様幅広いご意見、ご提言を汲みあげ、より良い支部活動が出来るよう平成21年度支部総会

後、委員会に5名の委員を増員しました。ここに改めてご紹介いたします。中西勲(33年卒)、小林紀夫(33年卒)、小畑和子(33年卒)、山中イヅ子(34年卒)、吉田勝昭(36年卒)の皆様です。22年度活動について、21年11月29日委員会を開催し、21年度収支状況と年度決算見込み、22年度予算編成、支部総会の進め方と内容役員候補選出、年間スケジュール東京支部ホームページ作成について、東京支部創立80周年記念総会について当面の課題等の要項を委員会と検討しました。2月9日開催の委員会最終案を纏め、常任理事会、役員会に提案しました。特に22年度計画として、まず東京支部のホームページを検討するため谷本副委員長(32年卒)をリーダーに榎本支部長代行、太田都治郎(56年卒)、石田知行(平8年卒)、福家正人(平11年卒)の5名で研究会を立上げることにし、細部にわたって検討しています。ホームページを導入して他校同窓会も積極的に活動しています。会員の皆様に喜んでいただける内容になると思います。次に、平成25年に東京支部創立80周年を迎えます。記念総会の実施のため毎年5万円を積立てます。内容等については今後検討してまいります。22年度諸計画立案と予算編成に当たっては、昨年と同様厳しい財政事情のため、全体の活動費を見直し、更に経費の節減に努めています。支部運営は会員年会費、役員寄付金、個人賛助金、企業広告の収入で行っています。この内、会員年会費、役員寄付金で支部の運営が出来ることが理想です。総務委員会から昨年同様お願いしたいことは、22年度会費のお支払いをお願いいたしますと同時に、皆様のご意見ご提言を賜り、東京支部活動にお力添えをよろしくお願い申し上げます。

後、委員会に5名の委員を増員しました。ここに改めてご紹介いたします。中西勲(33年卒)、小林紀夫(33年卒)、小畑和子(33年卒)、山中イヅ子(34年卒)、吉田勝昭(36年卒)の皆様です。22年度活動について、21年11月29日委員会を開催し、21年度収支状況と年度決算見込み、22年度予算編成、支部総会の進め方と内容役員候補選出、年間スケジュール東京支部ホームページ作成について、東京支部創立80周年記念総会について当面の課題等の要項を委員会と検討しました。2月9日開催の委員会最終案を纏め、常任理事会、役員会に提案しました。特に22年度計画として、まず東京支部のホームページを検討するため谷本副委員長(32年卒)をリーダーに榎本支部長代行、太田都治郎(56年卒)、石田知行(平8年卒)、福家正人(平11年卒)の5名で研究会を立上げることにし、細部にわたって検討しています。ホームページを導入して他校同窓会も積極的に活動しています。会員の皆様に喜んでいただける内容になると思います。次に、平成25年に東京支部創立80周年を迎えます。記念総会の実施のため毎年5万円を積立てます。内容等については今後検討してまいります。22年度諸計画立案と予算編成に当たっては、昨年と同様厳しい財政事情のため、全体の活動費を見直し、更に経費の節減に努めています。支部運営は会員年会費、役員寄付金、個人賛助金、企業広告の収入で行っています。この内、会員年会費、役員寄付金で支部の運営が出来ることが理想です。総務委員会から昨年同様お願いしたいことは、22年度会費のお支払いをお願いいたしますと同時に、皆様のご意見ご提言を賜り、東京支部活動にお力添えをよろしくお願い申し上げます。

白色度70%再生紙を使用しています。

東京香川県人会情報

支部長代行 S32年卒 榎本恵一

平成21年11月4日(水)第91回東京香川県定期総会が間近に皇居の緑豊かな森が見える東京會館9階のロースルームで開催されました。天井も高く一番広いホールであり、料理も評判ですが、皇居に近い立地が大きな価値を高めております。

当日の参加者は337名で、前年の第90回記念総会とすることで動員に頑張つて368名予定が欠席者も多くなり、結果として339名となり、ほぼ同じ水準で、同窓会を母体に参加者の動員に努力された成果が上がったものと思います。昨年、高松商業OBの参加者数も10月では申し込みが14名でしたが当日は、OBの友人で香川県出身者も入れて22名と大幅な参加者となりました。ひとえに常任理事の方々のご努力と、参加された方々にお礼申し上げます。

当日は、例年の会長、知事、県議、会副議長の挨拶、新役員の紹介で始まり、

第92回定期総会が場所は同じ東京會館で開かれ、村山 岳氏に内定しております。多度津中学、高松一高から東京藝術大学を卒業し、国内、イギリス、イタリア、ウイーンにコンサート出演活躍している。また、2010年度「ミス日本」でグランプリに輝いた、林史乃さん(東かがわ市出身)も参加予定です。勿論、例年行っています香川県の特産品が当たる抽選会も実施します。

料理は東京會館自慢の和食・洋食・中華の折中等でバイキング方式となります。勿論、好評の「さめきつ」

東京香川県人会第92回定期総会の御案内

今年も、「東京香川県人会総会」を盛大に開催します。たくさんの高松商業高校のOBの方々に参加していただけることをご期待し、心よりお待ちしております。

今年度は、スペシャルゲストとして、2010年度の「ミス日本グランプリ決定コンテスト」でグランプリに輝いた、林史乃さん(東かがわ市出身)が参加してくれる予定です。

開催日時 平成22年11月4日(木) 18時

会場 東京會館 9階「ロースルーム」(千代田区丸の内)

次 第 総会、演奏会、懇親会、アトラクション、お楽しみ抽選会、さめきつとどろこナーなど(全員にお土産があります)スペシャルゲストとして、2010年度「ミス日本グランプリ」に輝いた、林史乃さん(東かがわ市出身)も参加予定です。参加費 7,000円(学生 3,000円)

開催案内は、9月中旬に送付する予定です。ホームページにも掲載します。http://www.pref.kagawa.jp/tokyo/concerttop.htm

www.pref.kagawa.jp/tokyo/concerttop.htm

今まで、案内の来なかつた方は、東京香川県人会事務局へご連絡下さい。問合せ先：東京香川県人会事務局(香川県東京事務所) TEL:031521219100

も提供しますし、香川県特産品コーナーの販売も設置となります。テーブルは出身者別着席方式で昨年は高松OBの面々が3つのテーブルに集まり懇親を深めました。今年も同様な設置となります。今年の参加者数目標は350名となりまして、皆さま方の総会参加で、県人会員との交流も是非深めて頂きたいと思っております。

紫雲会のみなさま、ふるさと元気を支えてください!

香川県東京事務所長 納田 和重

世界に向けたビッグイベント「瀬戸内国際芸術祭」を見に来てください。昨年、東京での生活が始まり、3ヶ月ぶりの帰省の折に、マリノアナードで瀬戸大橋を渡りました。車窓に広がる海と島、そして青く澄み切った空。私のふるさととは、こんなにも輝いていたのかと、これまでわからなかった、美しさや感動がりと流れる時間に新鮮さと感動が覚えられました。このふるさとの瀬戸内海の7つの島と高松港周辺を舞台に、島々の歴史や文化を生かした現代アートの祭典、「瀬戸内国際芸術祭2010(アートと海を巡る百日間冒険)」が、7月19日の海の日から10月31日まで開催されます。世界中から訪れるアーティスト、サポーター、来訪者の皆さんが地域の方々と交流し、ともに創り上げていく芸術祭です。2月に、東京で開催した企画発表会には、予想を超える300名以上の方が参加され、会期が近づくとつれ、注目度が高まっていることをひしひしと感じました。会場の一つの直島は、イギリスの旅行雑誌、トラベラーで、「世界の行くべき七つの場所」の一つとして紹介され、人口3,300人の島に年間34万人の観光客が訪れます。お年寄りの笑顔があふれるところが元

気な地域、という芸術祭の提案は、これからの日本の地域づくりへの大きな挑戦です。また、イサム・ノグチ庭園美術館、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、香川県立東山魁夷せとうち美術館をはじめ、直島の地中美術館など、いろいろな美術館が堪能できるのも香川県の魅力の一つです。映画もそぞくとロードショー「機関車先生」・「世界の中心で、愛をさけぶ」・「UDON」など、約140件の口ケ撮影を誘致支援し、

高商界限

上嶋商店のおばちゃん

香川県立高松商業高校教諭 S63年卒 小西裕樹

現在、母校の新築工事が進んでいます。私にとっては、校舎が新しいくなる喜びよりも、自分が学んだ学舎が無くなりしてしまう寂しさの方が大きいように感じます。また、校舎以外にも高商を囲む環境が変遷しています。正門前にあった銭湯は取り壊され、30年近く続いた文房具屋も閉店し、そして、私が生まれる前から続いていた「うら」と思われる上嶋商店もついに閉店することになりました。ここには、高商に関する新聞記事の切り抜きや全国大会に出場したチームの寄せ書きなどが店内一杯に飾られ、生徒はもろろんのこと職員もよく立ち寄る、心安らく場所でした。毎年3月に発行している「たかしょ」と言う冊子に、本校の香西亮先生が取材した記事があり



取材した記事があり

全国の皆様は香川県を紹介してきましました。今年は、女木島、男木島を舞台にした「めおん」が4月17日に、きなこ「見習い警察犬の物語」が8月14日に、またイサム・ノグチの母を描いた「LEONIE(レオニー)」が11月中旬に公開されます。

新橋の「瀬戸内旬彩館」をよろしくさめきつとどろん、年明けつとどろん、和三益、キウイフルーツ、レタス、小原紅生みかん、小豆島のオリブ製品、オリブハマチ、ひけた鱈、

「瀬戸内国際芸術祭の会場」直島(なおしま)、豊島(てしま)、女木島(めぎしま)、男木島(おぎしま)、小豆島(しょうどしま)、大島(おおしま)、犬島(いぬじま)、高松(たかまつ)

宅に入居させてもらいました。長い間、高商の先生、学生のみなさまにお世話になりました。また、この度のたくさんのお優しいお言葉の寄せ書き。本当に嬉しく懐かし、毎日のように見ている涙、読んでは涙、毎日の日課にしております。何年か前に卒業された方まで本当にお祈りください。皆様のご健康をお祈りいたします。私事ですが、高商生の皆様若きエネルギーをもらい、こんなに長生きさせてもらいました。95歳になりました。ありがとうございます。

卒業生の皆様、おめでとことございます。思い出多い3年間を後に、進学に就職へと出発される道に幸あれとお祈りいたします。これからの長い年月には、つらいこと悲しいことが必ずあります。その時こそ高商での3年間、勉強や部活で汗を流して泣いて頑張ったことを思い出してください。同時に温かい親御さん、恩ある先生の教えを素直に思い出して頑張ってください。おばちゃんも優しい皆様を人生の勝利者となられることを心からお祈りさせていただきます。

校の香西亮先生が取材した記事があり

私は、昨年4月、骨折し緊急入院しました。手術は成功し、順調に回復しました。7月よりこの高齢者住

上嶋キクエ

「教え子の活躍」 箱根駅伝長尾正樹君

香川中央高校教諭 S54卒 岡俊博

今年の正月は、幼い少年のように心が弾み、どうしても行かなければならない場所があった。箱根・芦ノ湖である。箱根と言えば、今や駅伝今から27年前、私が走った場所でもあり、日頃から故郷のように感じている。

今年はその箱根路を教え子である長尾正樹君（日体大4年生、平成18年卒）が走った。昨年は、平塚から戸塚までの第8区を走り、チーム総合3位の立役者として貢献し、2年連続の出場となった。

昨年の2月頃、彼が帰省した際私に「岡先生、来年は箱根の5区を走ります」と自信溢れる口調で言った。私は「ほんまに言よんか？山登りは、そんなに甘くないぞ！」と返答した。

彼にとって、昨年、初の箱根駅伝で第8区を走らせたにたいしたこと大きい自信となり、さらに次の目標へと心身共に大きく成長させたのであろう。

また、日体大進学への所期の目標である「箱根を走る」ということをクリアし、最終目標である「岡先生と



同じ5区を走ることに、も、至近距離に近付きクリアできると確信したのであろう。

彼の生真面目さは、前回の紫雲会会報で紹介した通り、最後まで諦めず努力家である。その努力を表面的には出さず、実行・実現するところ

に、大いに人間性を惹かれる。彼と私の共通点には、誕生日から始まり、高校・大学、そして同じ山登りの5区へと、何かと縁というより同2世を感じる。

今は、彼の頑張る姿が私への活力や刺激となり、支えていただいている。私も彼には、負けない人生を歩んでいきたいと考える。

今春から、四国電力での彼の活躍を大いに期待する。

会員名簿メンテナンスについて

名簿委員会 S32年卒 榎本恵一

平成21年5月には皆さまのお手許へ「紫雲会東京支部会員名簿」を新しく作成しお届けしてきました。しかし、問題点が二つありました。一つは、氏名、住所の確認作業を年次幹事にお願ひ致しましたが、年次幹事の不在の年次、年次幹事に何回かお連絡しましたが連絡がうまくいかず、結果として従来のままの名簿の使用をしたこと、二つ目は、アドレスシールが、昨年は時間的に東京支部会員名簿から作成することが出来ず、従来のまま高松の本部作成「紫雲会会員名簿」のアドレスシールを使用しており、東京支部会員名簿のアドレスシールとなっていないこと。

このような問題を解決するため、年次幹事活動を活性化するため



新しく「年次幹事推進委員会」が新しく発足し、不在年次幹事の解決も併せて改善出来るように組織的な委員会ができたこと。二つ目は、東京支部名簿に関して一部修正等が発生してきたものも加味して、東京支部名簿に基づくアドレスシール作成のための基礎作業を、今年、名簿委員会を3回ほど行い、次回の会報・総会案内等が会員に送付出来るようにアドレスシールの改善を行っていました。

このようなことからまた改善出来てないこともありますが、今年から初めて、自前の東京支部名簿に基づくアドレスシールを使う事になりました。しかし、まだまだ精度は問題点があるうかがい思いますが、お気づきのことがございましたら左記の所へご連絡頂きたいと思っております。年次幹事、委員の方々はこの紙面を借りましてお礼申し上げます。

高松商事(株)内
紫雲会東京支部事務局漆原慎一
電話03-55568 3320
紫雲会東京支部
名簿委員会委員長 榎本恵一
Eメール kei-ono@dc5.sonet.ne.jp



年次幹事推進委員会について

委員長 S33年卒 関 邦義

年次幹事会は瀧前支部長の肝いりで平成19年5月に発足、榎本支部長代行が中心となって暗中模索の中年次幹事の人選を行い、苦難の末年次幹事会を立ち上げた。

年次幹事は同年代の世話役として同年代の交流を深め、会員の把握と紫雲会東京支部との繋がりや和をひらめいて行く為にも大変重要であり、特に紫雲会東京支部の発展に不可欠な会員の増強には無くてはならない存在である。しかし残念ながら最近では会への出席率が低く、自主的な活動も無くその改善が強く望まれていた。

年次幹事会の活性化を検討する中で、年次幹事の人選は適切であったのか、組織が不明確で主体性がなく推進者が不在であると言った幾つかの問題点が指摘された。問題の解決に当たっては年次幹事の方々に直接意見を聞く事がベストであり、年次幹事会に熱心な10名の年次幹事が集まり、新春懇談会を1月30日に開催し忌憚のない意見を聞く機会を設けた。各出席者から貴重な建設的な意見が色々提案され、年次幹事の中から数名の推進役を選出し、問題の解決に積極的に臨む体制を作る事にした。

さらに組織的には従来の支部長直轄から常任理事会の中に年次幹事会の推進委員会として組み入れ、従来からある各種委員会と協調して紫雲会東京支部の発展の為活動する事で出席者の意見が一致し、出席者の中から次の5名が推進委員に選出された。

推進委員(卒業年度順)	33年
関 邦義	39年
池田政廣	40年
谷川生市	51年
萬納宏俊	59年
二川正浩	

年次幹事推進委員会は平成22年度

誇りを持って 頑張っています！

H8年卒 石田知行

紫雲会の皆様、こんにちは。この度は、紫雲会東京支部の幹部の方から、「会報に若者も寄稿して欲しい」という栄ある依頼を頂き皆様の前で稚拙な文章を晒す事となりました。小生にとっては、2007年4月に当時の宮川校長が企画されたSIP(高商生により高い進路目標を設定させる為の特別プログラム)の一環として、母校の対面式に招聘され、1時間程度、新入生並びに在校生を前にして僣越ながらも講演して以来の大事(おこと)です。

簡単に自己紹介致しますと、平成8年に英語実務科を卒業し、九州大学工学部に入學し、平成16年から現職の三菱商事株式会社に入社。3年間は化学品取引における三國間取引を担当、ここ3年間は発電所の建設に従事しております。

さて、既に皆様も疑問に感じた事と思いますが、何故、平成8年に高校を卒業した人間が、平成16年に入社しているのか？と、結論から言いますと、修士課程で2年、遊学で1年、就職浪人で1年の計4年が一般とは異なる経歴と言えらるでしょう。その結果として、今の自分の状態に辿り着き、商社マンという仕事に誇りを持って日々楽しく仕事が出来ています。只、流石に振り返ってみると、就職浪人は最大のピンチでした。

し、その他にも数え切れない大失敗を繰り広げてきた人生でした。そんな時も、いつの間にか自分の座右の銘ともなっていた「人生楽勝」を思い出し、開き直ったつもりで、次々と行動を起こし、途中でどんなに失敗しても最後はきつと上手にいく事を信じてきた結果、今日の自分があると感じています(まだまだ発展途上人間ではございます)。



流石の
念仏踊り
(笠井)

東京支部 俳壇 俳句、川柳

俳句 (季題「初夏」)

作者 (33年卒 吉川俊夫 様)

- ・ 輪廻に上着投げたる故郷の夕
- ・ 緑陰に化粧を直す若遍路
- ・ 馬作る長茄子の種時く五坪
- ・ 向日葵は背筋伸ばしていきさきよし

川柳 (自由題)

作者 (現代川柳として 安西紫雲 様)

- ・ 瀬戸渡る人の弱さが許される
- ・ 長い会議ふと白球の夏想つ
- ・ 好き勝手言える夫に不満とは紹介者 (36年卒吉田陽昭 様)
- ・ お互いに自分が耐えた気で夫婦 (作野谷竹治)

会員作品展 作品募集

○ 絵画 出品点数 3点以内

大きさ 30号まで

○ 写真 出品点数 3点以内

大きさ 全倍まで

○ 展示場所 紫雲会東京支部総会 会場

展示期限 6月19日 (土)

申込方法 左記へFAXまたはTEL

・ 絵画 片岡英明 FAX/TEL

043812317839

・ 写真 中西 勲 FAX/TEL

042159217407

(注) 額装・パネルの横幅通知

のし

搬入 7月3日 (土) 午前10時 総

会会場

搬入後出品者全員で実施

撤去 総会終了20分後から実施 各

自搬出

【注意】 多数応募の場合、展示数を調整させて

いただくことがあります。

壁面展示可能である書道・版画等で出品希望

の方は添削希望者に確認

ください。 TEL031556613320

・ 天国に近い髪から抜けていく (作今川乱魚)

・ 誰よりも君を愛して倦怠期 (作岡田千夜)

・ 男みな阿呆に見えて売れ残り (作山川阿茶)

次号にも掲載しますので、会員皆様より多数のご投稿を歓迎します！

(投稿先 中央区銀座6-3-9 高松商事内 紫雲会東京支部 事務局 漆原慎二)

初めての同窓会

S40年卒 谷川 生市

紫雲会東京支部の皆さん今日は！私達 昭和40年卒は昨年の紫雲会東京支部総会後、このまま別れるのは忍びがたく、お茶会的な懇親会を行いました。その懇親会でメンバーより年に何回は逢いたいとの意見があり、年末に忘年会を兼ねた同窓会を行う事になりました。10月初旬に同窓会開催日時と場所の検討に入り日時は11月28日 (土) P.M.6:00からと決まりました。場所は東京都内とし、都内であればやはり高商の先輩の店である「サンニ高松」が良いのではとの決論に至りました。10月中旬、紫雲会に参加したメンバー及び主な同期の仲間へ先ず電話で主旨説明して参加を促し、且つ、案内文書を作成し郵送しました。文書には内文書で連絡の取れる者への横展開もお願いし、出欠の回答は11月中旬に私より電話で確認する事としました。その結果9名の参加者が決まりました。(女性の参加者が居なかったのが残念ではありましたが)開催日の10日前に目的、日時、場所、会費、等の最終連絡文書と「サンニ高松」の地図を同封し参加者に郵送しました。こうして40年卒の東京地区での初めての同窓会を行う事が決定致しました。



右上 40年卒、同窓の人たち
下右 36会同窓全員よく集まりました。
下 36会会食の風景

致しました。参加者は木下一昭(1組)・高畑正夫(3組)・藤村茂(5組)・三木準一(6組)・久保美伸(6組)・山口智三(7組)・長尾義弘(1組)・高橋正義(4組)・谷川生市(3組)の9名であり、殆どが40年ぶりの再会でした。最初に11月初旬に開催された高松の40年卒同窓会の写真を見て何人判る人がいるかと大騒ぎして学生時代を懐かしみ思い出話に花が咲きました。宴は、酒に酔わない内に先ず記念写真を撮りその後、各人毎に卒業後の勤め先の話から現在の状況を発表してもらいました。1人の発表が終わる毎に歓声と拍手が沸きまわりました。3人目位からは皆、酒も程よく回り冗談も、笑いも出てきて更に盛り

40回目の同窓会を終えました!

年次幹事 S36年卒 高畠 武司

36年卒の年次同窓会正式名称「紫雲会東京36会」以下「36会」と称します)は毎年12月の第一土曜日に開



上がつてきました。個々の発表内容について、この紙面でお伝えできないのが残念です。最後に全員で校歌を大声で唄い宴は閉会と致しました。予定の2時間をはるかに越える盛り上がりで3時間以上の宴となりました。今後も年に何回かは集まりの機会を持ち同期の輪を広げて行きたいと思っております。皆様のご支援、御協力をお願い致します。

催することになっていきます。昨年も12月5日、40回目の36会を初めて昼どきの試行にて開催しました。遠来の友が帰宅し易く、その上、会費も割安になるからです。私達36会は紫雲会本部36会、大阪支部36会とも交流があり、情報もそれなりに入ってきます。発足当時、その開催は2回/年もありましたが、その後、1回/年が定着し、既に35年以上継続していることになりました。出席状況を申しあげますと、直近5年間の平均は男性17・2人、女性5・2人、合わせて22・4人でした。年度別出席人数は男性15、19名、女性4、7名の範囲内にあり、ほぼ安定しています。このように大勢の同期会員が一同に会し、それを継続するのは紫雲会という強い絆あつてのものと考えます。会員同士の思いやりや年に一度の集いをお互いに盛り上げる努力の賜物と思います。36会は当然ながら、布衣の交わりで日頃よりざっくばらんの付き合いをしております。酒を酌み交わしながら、一人ひとりの現状報告とか、母校・郷里の話、紫雲会のこと、更に健康のこと、人生訓とかの話面白おがしく歓談いたします。また、差し入れのプレゼンがありますとアマタクジで分配します。当った方の至福な顔は高校生時代と何ら変わりません。最後に、元応援団の主導で校歌斉唱から次回の再開を誓い合つて散会します。二次会に繰り出す元氣者も多くなります。今年には36会から末沢晴代さんが芸術分野(書道)で紫雲会東京支部長より表彰されます。本当におめでとうございます。永年のご努力に深く敬意を表するものです。36会でも大きな名譽であります。実は、私もこの40回目の例会で、36会有志より永年に亘るお世話役を評價いただき、思いもよらず表彰されました。同期同窓生の心根の優しさに心より有難く感謝するものです。今後とも

会報賛助金提供者

しい36会を可能な限り継続できるようにと願っています。

ご協力ありがとうございました。

平成21年度 会費の納入者

母校創立110周年 記念事業

香川県立高松商業高等学校は本年創立110周年を迎え、11月24日盛大に記念事業を行います。この記念事業では教育活動上必要とされる部活動費について、父兄の負担を軽減化させるために2,200万円の基金を創設することになりました。基金の趣旨と募金は既に本部より皆様に直接ご依頼があつたと思います。当支部もこの趣旨に賛同し、母校支援と本部・母校との交流拡大の観点から、応分の協力をしたいと存じますので、支部会員の皆様にはご配慮のほど宜しくお願い申し上げます。





閉会式であいさつ中の榎本支部長代行



安西支部長あいさつ



左より母校小西先生 (S63 年卒) と藤本先生 (S51 年卒)



表彰される大谷美恵子さん (S40 年卒)

平成
21
年度
総
会
風
景
ま
る
か
じ
り
!



校歌斉唱、左より安西支部長、多田大阪支部事務総局長
榎本支部長代行、齊藤紫雲会会長



中大クリスタルスイングオーケストラによる生演奏



宴たけなわの会場

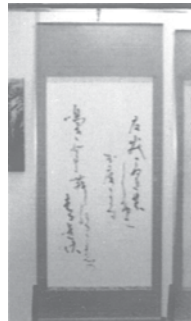
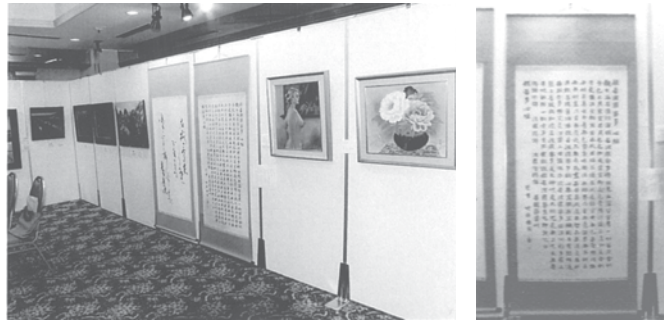


カンパいのあと、一同ホッと一息の風景

白色度 70%再生紙を使用しています。



平成21年度
作品展示風景



平成21年度 紫雲会東京支部総会 出席者名簿

来賓
紫雲会本部長 松野 公夫
副会長 平藤 玲子
評議員 野田 山
紫雲会大阪支部副支部長 川 含良本
高岡倶楽部会長 川 含良本
事務局長 西尾 久史
校長 宮本 洋子
校教 高木 由子
母 校 教 諭 高木 由子
母 校 教 諭 高木 由子
日本体育大学

武良子 寛
道一 男
二樹 樹
池田 政廣
大森 正
北條 勇
松濱 明貴
横山 征一
太田 政輝
久保 美伸
高橋 正徳
谷川 生市
藤村 茂一
三木 幸一
大谷 美恵子
大塚 成子
石川 敷一
西木 茂雄
高崎 貞
中橋 孝一郎
三橋 忠昭
岩井 康男
藤木 克己
二川 昌弘
浜口 幸治
多田 光
廣納 宏俊
秋山 典久
樽谷 昌彦
堀 眞英
前田 裕弘
山田 敏弘
津原 慎二
生駒 真澄
太田 穂治郎
池下 高広
小林 一昌
雨宮 誠
飯野 ひとみ
石田 知行
福家 正人
山邊 順子
今岡 和弘

卒業年度	氏名	卒業年度	氏名	卒業年度	氏名
昭和21年	豊崎 利夫	昭和33年	安西 公夫	昭和39年	池田 政廣
28年	小西 弘美	33年	小原 清	39年	大森 正
28年	杉ノ内 義春	33年	柴原 昇	39年	北條 勇
28年	多田 博彦	33年	関 邦義	39年	松濱 明貴
28年	玉置 収	33年	中西 勲	39年	横山 征一
28年	奥津 富夫	33年	吉川 俊夫	40年	太田 政輝
28年	藤原 弘	33年	小林 紀子	40年	久保 美伸
28年	上田 康夫	34年	海面 朗	40年	高橋 正徳
28年	瀧 利幸	34年	渡辺 君子	40年	谷川 生市
28年	若宮 修三	34年	山中 イツ子	40年	藤村 茂一
29年	内海 昭夫	34年	鏡野 清香	40年	三木 幸一
29年	川田 孚	35年	赤澤 信夫	40年	大谷 美恵子
29年	鍋井 久信	35年	岡田 行正	40年	大塚 成子
29年	三宅 寿美夫	35年	橋 昭次郎	41年	石川 敷一
29年	平田 久子	35年	久保 祐三	41年	西木 茂雄
30年	上原 毅	35年	高島 保	42年	高崎 貞
30年	片岡 一喜	35年	多田 輝雄	42年	中橋 孝一郎
31年	依々木 清	35年	増田 修也	42年	三橋 忠昭
31年	宇田川 四郎	35年	宮本 安洋子	43年	岩井 康男
31年	飯 昭幸	35年	余丸 玲子	43年	藤木 克己
31年	鶴井 文男	35年	山上 真子	43年	森 克己
31年	松本 寛	36年	川西 憲造	45年	二川 昌弘
31年	山田 二郎	36年	黒川 達夫	47年	浜口 幸治
32年	安西 彰	36年	齋藤 昭男	50年	多田 光
32年	安西 貞夫	36年	造田 貞男	51年	廣納 宏俊
32年	榎本 恵一	36年	高島 武司	52年	秋山 典久
32年	太田 正美	36年	宮武 喜代一	52年	樽谷 昌彦
32年	大野 勲	36年	樋矢 弘道	54年	堀 眞英
32年	片岡 英明	36年	宮武 貞雄	54年	前田 裕弘
32年	川田 福造	36年	吉田 勝昭	54年	山田 敏弘
32年	喜岡 進	37年	吉田 勝	55年	津原 慎二
32年	依々木 修	37年	小原 誠	55年	生駒 真澄
32年	谷本 清彦	37年	鹿野 清司	56年	太田 穂治郎
32年	中村 福市	37年	島原 俊二	57年	池下 高広
32年	蓮井 昌雄	37年	軒原 勝	57年	小林 一昌
32年	山下 登志子	37年	藤岡 幸之	3年	雨宮 誠
32年	長堀 曉美	37年	若宮 利夫	平成3年	飯野 ひとみ
32年	五十嵐 悦	38年	西尾 久史	8年	石田 知行
32年	岩崎 智雄	38年	宮本 澄子	11年	福家 正人
		38年	宮本 洋子	11年	山邊 順子
		38年	高木 由子	20年	今岡 和弘

★印:支部長
◎印:数高顧問
○印:顧問
㊦印:支部長代行
☆印:副支部長
◇印:理事
●印:事務局長

	男性	女性	計
来賓	10	1	11
一般	101	17	118
21~29歳	1	1	2
20歳まで	1	0	1
新入会員	0	0	0
計	113	19	132



安西法律事務所

弁護士 安西 愈
(S32年卒)

〒104-0061
東京都中央区銀座3丁目4番地1号大倉別館3階
TEL 03-3563-3225-7
FAX 03-3561-2446

美味しいお料理と最上のおもてなし

日本料理・イタリア料理・フランス料理

厳選した旬の新鮮素材を活かし、創作豊かな各専門の料理長が
腕を振るった自慢のお料理の数々をお楽しみいただけます。



からだにやさしい Myレストラン
前味 (安らぎ) ——サンミ
中味 (感動) ——サンミ
後味 (幸福) ——サンミ
味を讃美する。 ——サンミ
お客様、料理、社員が
三位一体となる。 ——サンミ

代表取締役会長 溝渕 利幸 (昭和26年生)

ご家族でのご会食、同窓会、クラス会等
大小個室をご利用ください。

銀座 Sun-mi 本店 〒104-0003 東京都中央区銀座3-3-9
TEL.03-5568-3300(組合受付)
並木通り店・銀座7丁目店・横浜 伊勢佐木町店

税理士法人 岩瀬総合会計事務所

社員税理士 岩瀬 博 (S33年卒)

本部 〒208-0021 武蔵村山市三ツ藤2-45-6
TEL 042-560-7666 FAX 042-560-7667
八王子事務所 〒192-0906 八王子市北野町172-7
くさの北野ビル2F
TEL 042-649-8800 FAX 042-649-8520